

医師会主導による市全域を指定場所以外では喫煙できない西宮市にしよう運動

私は、15年前の開業時から、様々な禁煙活動をしてきました。2年前の談話室に投稿したように、体の前面と背面に[プラカードをぶら下げ](#)、路上のポイ捨ての灰殻を掃除したり、駅や路上でJTからもらった簡易吸い殻を配りながら「ポイ捨てしないでくださいね」と路上喫煙者に呼びかけていました。しかし、時にいやな思いをすることも何度かありました。

本年は、長年の念願であった[オリジナルTシャツ](#)を作成し、希望する患者さん約40名に配り、彼らの地域で着ていただくことと、当方に受診するとき、着用するようにお願いし、実行できました。

また、6月には、このオリジナル禁煙Tシャツを私が監督（兼エース兼用具・渉外係）をする[野球チームのメンバー](#)が着て野球の試合をすることができました（図2 右から3人目が乾先生、左から2人目が筆者）。このようなTシャツを着てスポーツをすることは、相手チームにも、また次の試合を待っているチームにもそれなりに禁煙をアピールできたように思います。当クラブは、私が監督であることから医療関係者が多く属しています。医師は9名で、西宮医師会理事である乾先生も在籍されています。ちなみに、現時点（11月15日）での本年度の成績は21勝、12敗、4引き分けです。たぶん、この1年では私の投球回数は300イニングスになると思います。

2020年の東京オリンピックでは、喫煙に関して世界的レベルの都市にするため、指定地域（DSA: designated smoking area）以外では喫煙できないことにしようという議論があります。東京の一部の区では、すでに実施されているようです。

DSA指定より禁煙のほうがよいかもかもしれませんが、実現性が乏しいように思います。タバコ全面禁止の途中段階として、まずDSAを設けるということを、条例で決めてほしいと思います。

歩いているひとのポイ捨てはともかく、自転車、バイクに乗っている人や車からのポイ捨ては本当に危ないです。しかし、現状では止める手段はありません。DSA以外では吸えないとの市の条例を作れば、ポイ捨ては条例違反であり検挙することもでき、ポイ捨ての頻度は極めて低くなると期待できます。

西宮市役所周辺では、DSA以外では喫煙はできず、自動的にポイ捨てはペナルティの対象となっています。しかし、市役所周辺以外では自由に喫煙できます。「たばこを吸うな」ではなく、吸うのであれば、他人に迷惑がかからないように、特定の場所でするように、ルールを作ってほしいと言うことです。

市の条例として上記を決断することはそれほど難しいことでしょうか？私が個人的に相談した西宮市の市会議員（喫煙者）は、それは「しつけの問題」で条例にすべきではないといわれましたが、守れない人がいる以上、ルールにす

べきです。ルールにしたから 100%路上喫煙がなくなるとは思いませんが、頻度はかなり減少すると思われます。

医師会や保険医協会は医療団体です。医療団体は、社会性をもったメッセージも発信しなければいけないと思います。そうでないと自分の組織を守る利益団体と考えられてしまいます。東京にさきがけて、海外の主要な都市のように西宮市全域に DSA を設けるという運動を西宮医師会が先頭をきって推進しませんか？まずは、医師会に禁煙推進委員会を作って、様々な提案をしていくことだと思います。できればこの文章をそのまま理事会に提出したいと思います。

そしてその提案に医師保険加入の人々には医師会から私のオリジナル T シャツを配布することも加えたいと思います。

2016.11.18